

# 『通常試験』

## 試験前の準備

あらかじめ用意するもの

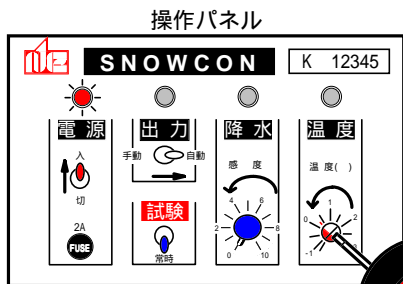
マイナス (-) ドライバー

急冷スプレー

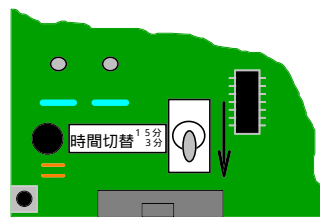
雪

「コップ1杯程度」

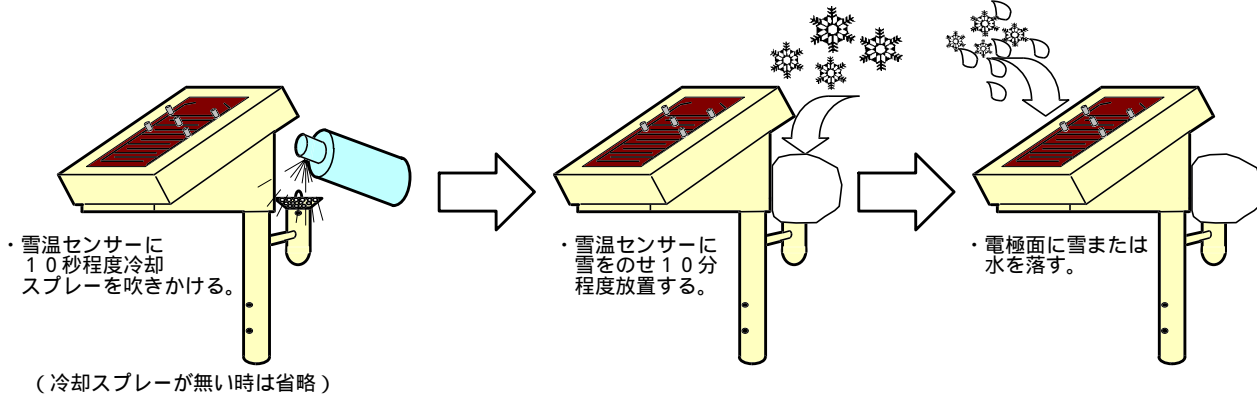
これらが手近かにご用意できない場合は裏面の簡易試験を行ってください。



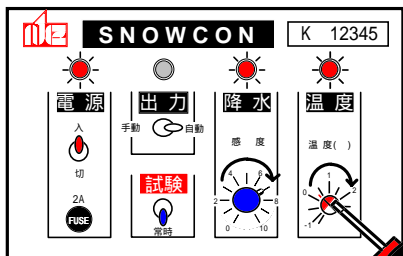
主基板の左下



- ・電源を入れる。
- ・『出力切替』スイッチを自動にする。
- ・『降水』『温度』ボリュームを共に左回し一杯にする。
- ・オフディレイ『時間切替』スイッチを3分にする。

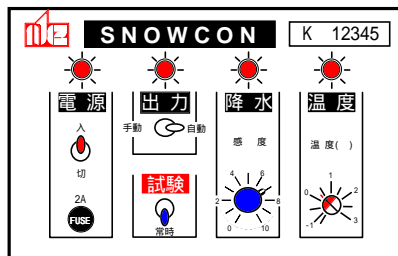


## 降雪倍試験



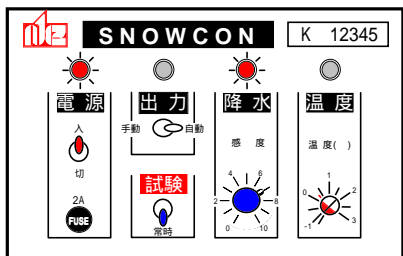
- ・『降水』『温度』ボリュームを共に右に回してランプ点灯を確認する。

約3分待つ

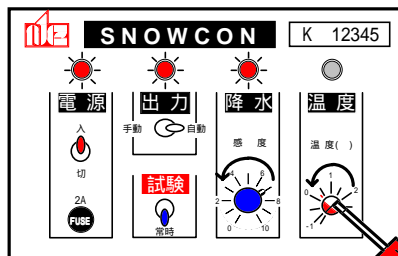


- ・『降水』『温度』ランプが点灯したまま約3分後に『出力』ランプが点灯する。
- ・ポンプ等も動作する。

約3分待つ



- ・『出力』ランプが消える。
- ・ポンプ等の動作も停止する。



- ・『降水』『温度』ボリュームのどちらか一方を左に回してランプを消す。

気象条件により『温度』または、『降水』ランプが消えない場合があります。その時には、裏面の簡易試験を行ってください。

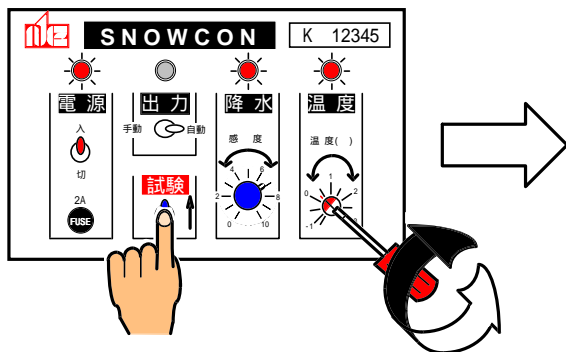
## 復 帰

受雪板の雪を取り除き、スイッチ・ボリュームを標準設定位置に戻す。

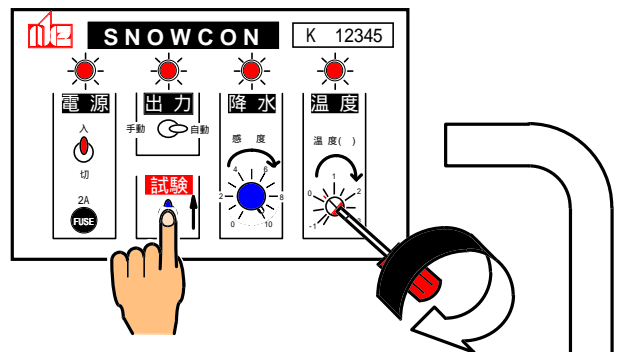
## 『簡易試験』

本体制御部のみの内部試験を行うものです。

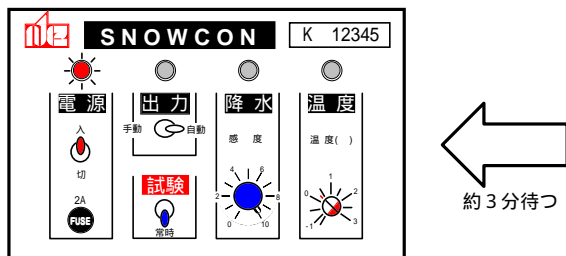
### 簡易降雪試験



- ・『試験』スイッチを上げる。  
(はね返りスイッチのため手で保持のこと)
- ・『降水』ポリュームを回して『降水』ランプが右回し点灯、左回し消灯を確認する。
- ・『温度』ポリュームを(-)ドライバーで回して『温度』ランプが右回し点灯、左回し消灯を確認する。

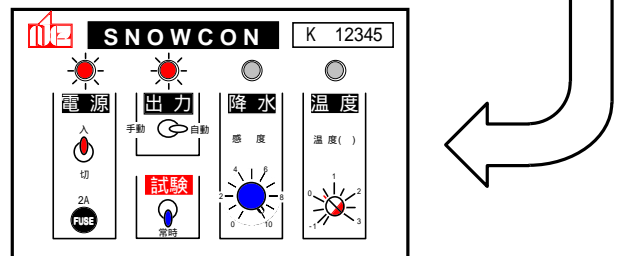


- ・『降水』『温度』ポリュームを共に右に回して『降水』『温度』ランプを点灯させる。
- ・約1秒後に『出力』ランプが点灯する。
- ・ポンプ等も動作する。



- ・『出力』ランプが消える。
- ・ポンプ等の動作も停止する。

約3分待つ



- ・『試験』スイッチをはなす。  
(『降水』『温度』のどちらかのランプが消える。)
- 気象条件により『試験』スイッチをはなしてもどちらも消えない場合があります。その場合には、『試験』スイッチを上げたまま『降水』『温度』ポリュームどちらかを左に回してランプを消す。

### 復 帰

スイッチ・ポリュームを標準設定位置に戻す。

## 『受雪板の点検』

制御部端子台で接続ケーブルの結線を外し、受雪板の入力抵抗値を測定

端子台	線 色	接続回路	標 準 抵 抗 値	テ ス タ ー
H 1 ・ H 2	茶 - 黄 間	主ヒーター	約 4 0 0	デジタリ・アナログ
C 1 ・ C 2	白 - 黒 間	水分電極	乾燥時・・・無限大 濡れ時・・・約 1 0 k ~ 2 0 0 k	アナログ
TH 1 ・ TH 2	緑 - 赤 間	温度センサー	0 ……約 6 k 1 0 ……約 4 k 2 5 ……約 2 k	デジタリ・アナログ
H 3 ・ H 4	紫 - 青 間	補助ヒーター	約 8 0 0 ( 1 0 0 V 仕様は 2 0 0 )	デジタリ・アナログ

## 『融雪システムの動作試験』

システム全体の動作試験を行う時は、スノーコン動作パネル『出力切替』スイッチを『手動』にして信号を出してやると便利です。尚、試験が終わりしだい必ず『出力切替』スイッチを『自動』に戻してください。